

科目名	復興支援論			ナンバリング	REC132	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	辻岳史	担当教員					

授業の概要	本講義では、日本および世界における復興支援の歴史と制度、これまでの災害において進められてきた復興支援の事例に関する基礎的な知識を身につけることを目的とする。それとともに、復興支援に伴う諸問題を自らの問題として考察することを目的とする。復興支援は誰のために、どのようになされるべきかという問いを抱いて、望ましい復興支援のあり方を検討し、展望する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 復興支援にかかわる様々な主体(政府・自治体・専門機関・ボランティア等)の関係と役割について説明できる。 復興支援に関する法制度について説明できる。 災害弱者・災害時要援護者について説明できる。 被災者の視点から復興支援のあり方について考えることができる。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	できるだけ多くの関連資料(書籍)を読んでほしい。その際、ただ単にその内容を覚えるだけではなく、その内容や当該の問題について自分自身で考察を加えながら読む読み方をするように。また、ネット情報の活用を勧めるが、その際には信頼できる情報か否かを十分に検討すること。考えながら学修する姿勢を持つようにしてほしい。
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】
	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
	○ 2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
	○ 4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
	○ 5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
復興支援にかかわる様々な主体(政府・自治体・専門機関・ボランティア等)の関係と役割について説明できる。復興支援に関する法制度について説明できる。災害弱者・災害時要援護者について説明できる。	災害復興に関する基本的な理念や概念、および代表的な事例を理解しつつ、被災者の視点から復興支援のあり方について考えることができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○	○			30%
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○		40%
授業態度・授業への参加	○		○	○	○		30%

課題、評価のフィードバック	<ol style="list-style-type: none"> リアクション・ペーパーでの質問や意見には、次回の授業の冒頭でコメントする。 授業に関する質問や相談には随時応じる。 レポートや試験に関しては学生の要請があればいつでも開示・説明する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	復興とは何か －復興の理念と概念－	復興の理念と概念について、歴史的な変遷をふまえて解説する。	
	第2回	誰が復興に関わるのか？ －復興に関わる様々な人々－	復興支援にかかわる様々な主体(政府・自治体・専門機関・ボランティア等)の関係について解説する。	
	第3回	災害復興における公的支援	災害復興における政府・地方自治体の役割、特に大規模災害の際の役割について解説する。	
	第4回	復興支援に関する法制度	「災害対策基本法」「被災者生活再建支援法」を軸に、復興支援に関する主な法制度の概要を説明する。	
	第5回	諸外国における復興支援	スマトラ沖地震(2004年)・ハリケーン・カトリーナ(2005年)における諸外国の復興支援について解説するとともに、諸外国の復興支援のあり方をふまえて、日本における復興支援の特徴について考える。	
	第6回	地域社会における災害弱者の支援体制	平常時における地域福祉の体制が災害時にいかに機能するのかを解説する。災害時に生まれる市民・住民による自発的な活動をいかに復興支援につなげることができるかを考える。	
	第7回	災害ボランティアの担い手とその役割	災害ボランティアの担い手の多様化、災害ボランティアに期待される役割について解説する。	
	第8回	災害弱者の生活復興にむけた支援① －高齢者・乳幼児－	災害時に介護を要する人(高齢者・乳幼児)が抱える生活復興のニーズと、復興支援の課題について解説する。	
	第9回	災害弱者の生活復興にむけた支援② －障害者－	災害時に身体面の支援を要する人(障害者)が抱える生活復興のニーズと、復興支援の課題について解説する。	
	第10回	災害弱者の生活復興にむけた支援③ －外国人－	災害時に情報面の支援を要する人(外国人)が抱える生活復興のニーズと、復興支援の課題について解説する。	
	第11回	阪神・淡路大震災(1995年)における復興支援	阪神・淡路大震災における復興支援の取り組みと課題について解説するとともに、都市における災害福祉と地域コミュニティの役割について考える。	
	第12回	新潟県中越地震(2004年)における復興支援	新潟県中越地震における復興支援の取り組みと課題について解説するとともに、中山間地域における集落再建支援のあり方について考える。	
	第13回	東日本大震災(2011年)における復興支援① －津波被災地域－	東日本大震災の津波被災地域における復興支援の取り組みと課題について解説するとともに、福祉避難所・仮設住宅に代表される復興支援の拠点づくりのあり方について考える。	
	第14回	東日本大震災(2011年)における復興支援② －原子力災害被災地域－	東日本大震災の原子力災害被災地域における復興支援の取り組みと課題について解説するとともに、広域避難にともなう医療福祉の体制整備の難しさと、その望ましいあり方について考える。	
	第15回	総論・まとめ	復興支援に関する論点・課題を整理して、講義全体のまとめを行う。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方	基本的に講義と質疑応答とする。2・3回レポート課題を出す。			
授業外学習の指示	授業中に提示された参考文献を2冊以上読むこと。 (授業外学習時間： 毎週 60 分)			

教科書	特定のテキストは用いず、資料をプリント配布する。
参考書	西尾祐吾ほか編著(2010)『災害福祉とは何か』ミネルヴァ書房。 ※この他、授業中に関連図書を提示する。
参考URLなど	日本赤十字社『災害時要援護者対策ガイドライン』 http://www.jrc.or.jp/vcms_if/saigaikyugo-3.pdf
その他	